

平成 30 年 7 月吉日

会員各位

平成 30 年度 第 2 回 輸送分科会のご案内

一般社団法人 日本粉体工業技術協会
輸送分科会

コーディネーター	大阪大学 教授	田中 敏嗣
副コーディネーター	千葉大学 教授	武居 昌宏
代表幹事	ツカサ工業(株)	井上 照男
当番幹事	三興空気装置(株)	岸本 武志
	(株)椿本バルクシステム	中津井 誠一

謹啓

平成 30 年度の第 2 回輸送分科会を、物流のハンドリング機器メーカーである株式会社スギヤス 西尾工場にて、下記のように開催致します。

同社では、「Bishamon」ブランドで、国内マーケットシェアトップクラスを誇る自動車整備用機器事業、物流機器事業をはじめ、人と環境に優しい技術で社会貢献する住宅福祉機器事業、環境事業を4つの事業の柱として世界に展開しています。今回は、物流機器事業のベストセラーであり内製化率 80%のハンドパレットトラックの生産工程の工場見学、および今年 6 月に完成したばかりの常設展示場において物流機器や住宅福祉機器を見学頂きます。

見学後は、株式会社静岡プラント 顧問の渡辺孝司氏より、「微粉回収効率を改善した新形状のサイクロンの特徴及び作動原理について」と題して、粉体の空気輸送に欠かせない特殊サイクロンについてご講演頂きます。

ご多忙とは存じますが是非とも多数ご参加頂けますよう、どうぞ宜しくお願い致します。

謹白

記

1. 開催場所 株式会社スギヤス 西尾工場
〒445-0004 愛知県西尾市西浅井町二川崎 47 番地 4
TEL:0563-52-2221
2. 開催日時 平成 30 年 9 月 19 日(水) 12:30 ～ 18:20(予定)
3. 集合場所 JR 名古屋駅 新幹線改札出口コンコース銀の時計前
※受付を行いますので「輸送分科会」カードを持ったスタッフにお声掛け下さい。
※自動車で直接現地へ来場ご希望の方は事前にご連絡お願いいたします。

4. 開催プログラム

- | | | |
|-----------|---------------|--|
| 1) 集合 | 12:30 | JR名古屋駅 新幹線改札出口コンコース銀の時計前
(昼食はお済ませください) |
| 2) 移動(バス) | 12:40 ~ 14:00 | 名古屋駅 → (株)スギヤス 西尾工場
到着後会場にて参加費集金 |
| 3) 開会の挨拶 | 14:05 ~ 14:10 | コーディネーター 田中 敏嗣 教授 |
| 4) 会社案内 | 14:10 ~ 14:30 | (株)スギヤス 取締役部長 山田 文彦氏 |
| 5) 工場見学 | 14:30 ~ 15:50 | |
| 6) 休憩 | 15:50 ~ 16:00 | |
| 7) 講演 | 16:00 ~ 16:45 | (株)静岡プラント 顧問 渡辺 孝司氏
「微粉回収効率を改善した新形状のサイクロンの特徴及び作動原理について」 |
| 8) 閉会の挨拶 | 16:45 ~ 16:50 | 副コーディネーター 武居 昌宏 教授 |
| 9) 移動(バス) | 17:00 ~ 18:20 | (株)スギヤス 西尾工場 → 名古屋駅
※バス乗車前に記念写真を撮影致します。 |

5. 募集人数 最大 30 名とさせていただきます

6. 参加費用 会員 5,000 円/非会員 7,500 円
※参加費は、お釣り不要になるよう ご用意をお願い致します。
参加費は見学先到着後に集金致します。

7. 参加申込 別紙の申込書によりお申し込みください。
申込先: (株)椿本バルクシステム 技術部 システム1グループ 中津井 誠一
E-mail: nakatsui@tsubaki-bulk.com または Fax: 052-561-2153
参加申込はできるだけ e-mail にてお願い致します。

8. 参加申込締め切り 平成 30 年 9 月 10 日(月) 必着

9. 緊急連絡先

三興空気装置(株)	岸本	080-2483-9707
(株)椿本バルクシステム	中津井	080-1240-2235

10. ご注意事項 見学先と同業者の方はお断りをさせて頂く場合がございますので、予めご了承下さい。

平成 30 年度 第 2 回 輸送分科会 参加申込書

申し込み先: (株)椿本バルクシステム 技術部 システム1グループ 中津井 誠一 行き

E-mail: nakatsui@tsubaki-bulk.com (添付文書に必要事項を記入するか、
下の必要事項をメール本文に記載してください)

Fax: 052-561-2153 (本紙に必要事項を記入してご送付ください)

参加申込はできるだけ e-mail にてお願い致します。

輸送分科会の会員／非会員:

会員 / 非会員 ※いずれかに○をつけて下さい。

【輸送分科会会員の方 回答用】

出 欠	1. 出席 2. 欠席 (いずれかに○をつけて下さい)
氏 名	
会 社 名	
※部署・役職	
※住所	〒
※TEL	
※FAX	
※E-mail	

※ 印の欄は、変更や今回の案内状送付に誤りがある場合に記入願います。

また、E-mail アドレスをお持ちの方は、できる限りご記入願います。

今後のご案内が迅速に行えるようになりますので、是非ともご協力のほどお願い致します。

【会員外の方 回答用】

出 欠	1. 出席 2. 欠席 (いずれかに○をつけて下さい)
輸送分科会への入会	1. 希望する 2. 希望しない (いずれかに○をつけて下さい)
今後の案内の希望	1. 希望する 2. 希望しない (いずれかに○をつけて下さい)
氏 名	
会 社 名	
※部署・役職	
※住 所	〒
※TEL	
※FAX	
※E-mail	

※ 印の欄は、入会または案内を希望する場合に記入願います。

また、E-mail アドレスをお持ちの方は、できる限りご記入願います。

今後のご案内が迅速に行えるようになりますので、是非ともご協力のほどお願い致します。

<分科会事務局への通信欄>

分科会および協会の運営に関しましてお気づきの点がございましたらご記入下さい。

交通案内と集合場所

【交通案内】

《往路》

＜東京 ⇒ 名古屋＞

10:40(東京) ⇒ 12:21(名古屋) のぞみ323号

＜新大阪 ⇒ 名古屋＞

11:30(新大阪) ⇒ 12:20(名古屋) のぞみ336号

＜博多 ⇒ 名古屋＞

8:33(博多) ⇒ 11:53(名古屋) のぞみ14号

《復路》

＜名古屋 ⇒ 東京＞

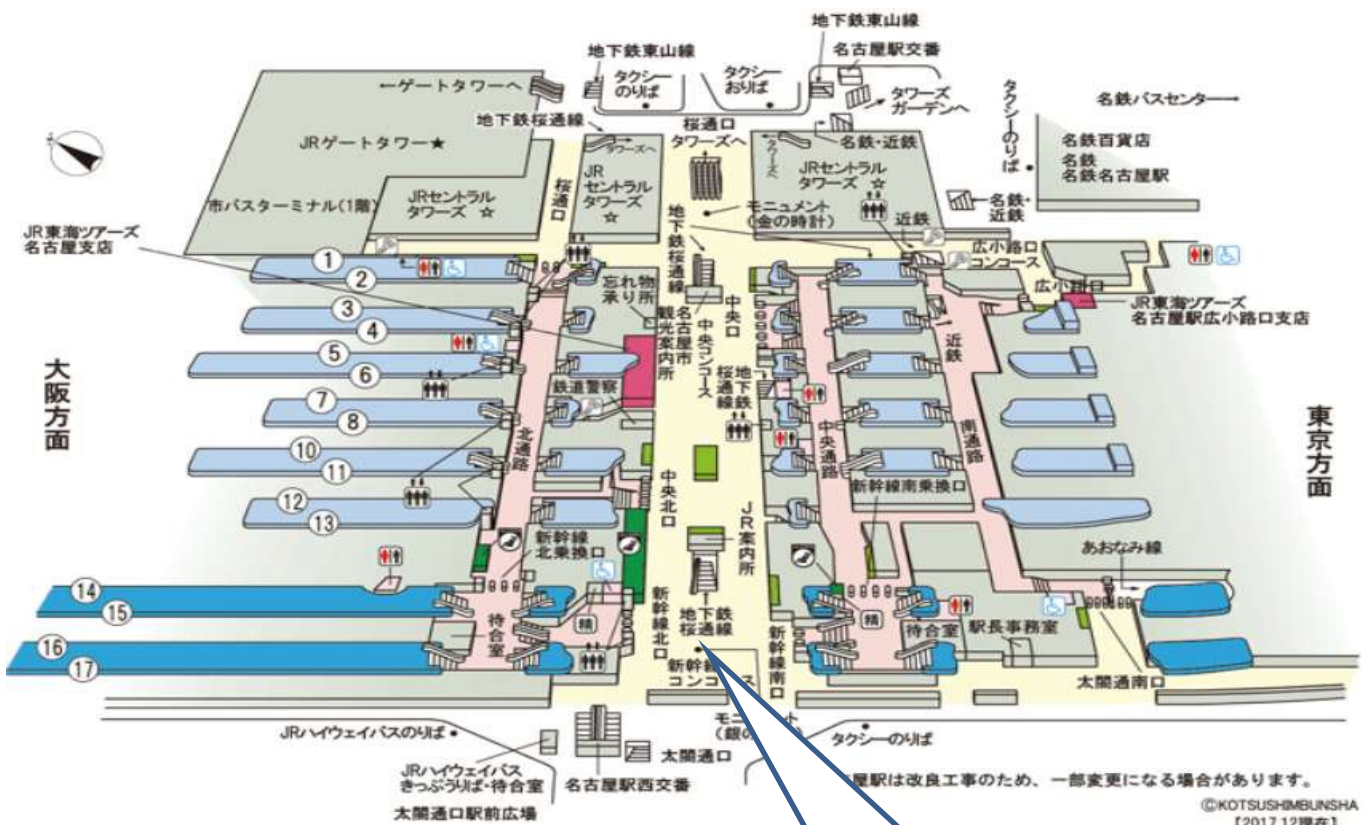
18:33(名古屋) ⇒ 20:13(東京) のぞみ42号

＜名古屋 ⇒ 新大阪＞

18:33(名古屋) ⇒ 19:23(新大阪) のぞみ51号

＜名古屋 ⇒ 博多＞

18:33(名古屋) ⇒ 21:53(博多) のぞみ51号



JR 名古屋駅構内

＜集合場所＞
新幹線改札出口コンコース
銀の時計(モニュメント)前

©KOTSUSHIMBUNSHA
【2017.12現在】



サイクロン回収にドームが 革命を起こします。

- 驚異の回収率
- サブミクロン粉も回収可能
- フィルタの目詰まりを解消
- 特許出願済み



新形状ドーム型サイクロン 粉末回収に「フィルタ0(ゼロ)への挑戦」

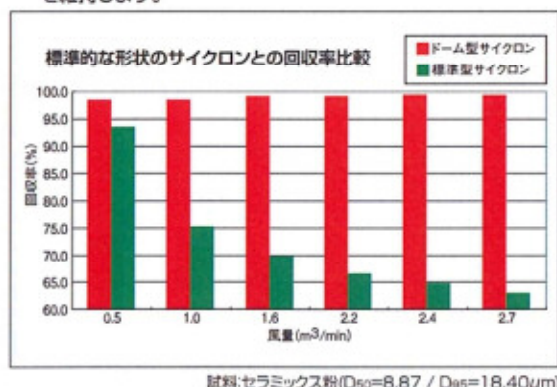
既成の概念を覆す、新発想のサイクロン回収器を開発。
バグフィルタの負荷を低減することは勿論、連結してフィルタ自体を省くことも可能です。
使用風量・条件に応じて、最適な形状をご提案致します。

■ 驚異的な回収効率

原料(回収)ロスの減少を実現。
また、バグフィルタ装置のフィルタの負荷を減少させ、
メンテナンスの省力化、長寿命化等で生産プロセスの
効率化が可能です。

■ 幅広い風量に対応が可能

風量変化(外乱)に対して、従来には無かった安定した性能
を維持します。



■ 使用用途

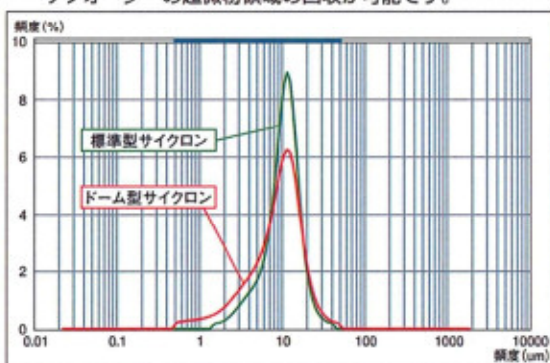
- ・ 既存のサイクロン回収器からの置換え
- ・ バグフィルタ回収器からの置換え
- ・ 空気輸送の粉末回収
- ・ コンタミを嫌うファイン粉末回収
- ・ 多品種生産用の粉末回収

■ 高濃度の分離も可能

従来のサイクロンでは高濃度条件化で、分離性能の低下
を引き起こすという欠点がありました。
しかし、ドーム型サイクロンは濃度(供給量)に依存度が低い
ため、分離処理時間の短縮を可能とします。

■ より微粉領域を回収可能

フィルタでなければ捕まえきれなかった、サブミクロンから
ナノオーダーの超微粉領域の回収が可能です。



DB No.	50°	49°
10.00% (μm)	4.828	2.753
50.00% (μm)	10.70	9.679
90.00% (μm)	17.46	18.66

試料: カーボン粉

※ 記載のデータは、弊社が設計した装置を用いた試験によるものです。

ドーム型サイクロンとの接続にJACOB社モジュラー配管を使用することも可能です。

詳細・お問い合わせはこちらまで

Shizuoka Plant
株式会社 静岡プラント
超微粉砕機 サイクロンミル

本社工場 〒421-0304 静岡県榛原郡吉田町神戸2841-2
TEL.0548-23-9090
FAX.0548-23-9091
URL <http://shizuoka-plant.com>



SUGIYASU PRODUCTS

圧縮・減容、破碎・粉碎、粉じん対策など、様々なシー
ンで環境問題を改善する機器をラインナップ。

The new culture requires technology that is friendly to people and the environment. At Sanyo, since we genuinely value and care about people, and think seriously about the earth, we want our technology to make a positive contribution to society.

今天時代正在追求「敬人」與「敬地」的技術，正因為「敬人」，所以才能真正「敬地」地發展。以「敬人」為出發點社會的企業。

プレス加工

Press working
冲型加工

曲げ加工

素材切断

Material cutting
材料裁切

レーザー・ノコ盤等によりカット

受注

Accept
受発

受注を行います。

テスト

Test
試験

試験を行います。

設計・開発

Development・Design
設計・開発

CAD・三次元 CAD
による設計

機械加工

Machining
機械加工

穴あけ・旋盤加工
部品運搬は当社の無人
搬送車で

信頼のある日本製

Trustworthy Made-in-Japan Products
信頼のある日本製製品

溶接

Welding
溶接

溶接を行います。

塗装

Painting
塗装

部品、Asay 別に塗装を
行います。

組付け

Parts assemble
組立

製品の組付けを
行います。

検査

Inspection
検査

ウエイトを載せて検査
を行ないます。
溶接機等はオーダー
メイドの為、製造開始
で検査します。

出荷

Shipment
出荷

